

飯田市観光振興ビジョン

概要版



ビジョン策定の趣旨

飯田市の魅力ある観光資源を効果的に発信し、人を呼び込んでいくため、また今後リニア中央新幹線の整備や三遠南信自動車道の開通等、新交通網時代を見据えた観光振興の基本施策を示す観光振興ビジョンをここに策定します。

飯田市観光の目指す姿

新交通網時代 地域のライフスタイルを保ちながら 感動の観光 共感の人的交流を実感できる 小さな世界都市飯田

新たな高速交通網時代を迎え、飯田市の観光事業が、
五感を刺激するわくわく感のあるまちづくりに貢献し、
若者を含め地域住民にとって夢と希望の持てるまちづくりの基幹として
存在感のあるものになることを目指します。



飯田市観光における 5つの柱

柱3 観光の魅力向上

方法・戦略の明確化

コンセプトに基づく環境整備

柱4 観光情報の提供と誘客の促進

観光客



柱1 リニア中央新幹線や 三遠南信自動車道による 誘客戦略

飯田市

柱5 人材育成・コミュニケーション

人材育成による観光地活性化
人材が活躍できる場の形成

柱2 観光地としての環境形成

柱1 リニア中央新幹線や三遠南信自動車道による誘客戦略

来訪者にわかりやすい誘客体制の整備

リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の高速交通網の変化に応じた誘客の促進と、リニア駅や高速道路のインターチェンジなどの交通起点周辺の情報や二次交通のためのターミナル化などを含めた地域の環境整備を目指します。

具体的
イメージ

- ◆首都圏や中京圏からの日帰り客誘致の強化：温泉、食、アクティビティ
- ◆リニア駅を発着点とした、新たな広域でのゲートづくり及び観光ルートづくり
- ◆リニア時代に即した、新しい輸送機関による市内リニア駅と中心市街地を結ぶ新しい交通機関の検討 など

外国人旅行者の誘客促進と受入環境の整備

今後我が国の観光振興において重要な旅客層となる外国人旅行者に対し、各対象国に応じた効果的な誘客を目指します。また、来訪した際に本市の観光を十分に満喫できるよう、情報内容や提供の方法などを整備します。

具体的
イメージ

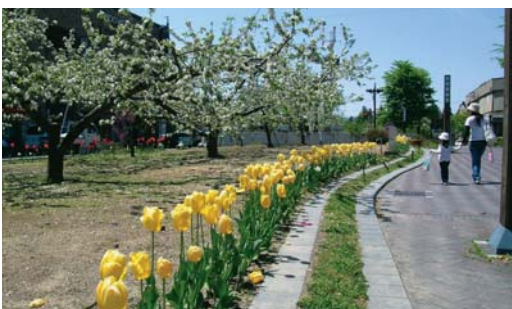
- ◆長野県が行う国際観光推進事業と連携した、海外向けの観光プロモーション活動による観光情報の発信
- ◆国際交流推進団体等との連携による外国人旅行者の受入態勢の整備
- ◆リニア駅にビジットジャパン案内所の整備を検討 など

リニア駅を中心に多機能高付加価値の形成

来訪者と情報が往来するようになる中で多くの誘客を確保するため、リニア駅間での交流プログラムのリスト化や独自の受付方法を開発して、観光地としての差別化を図るなど、周辺のまちづくりと一体化した多機能かつ高付加価値の観光地を目指します。

具体的
イメージ

- ◆リニア中央新幹線の駅が所在する自治体間のネットワークづくりの推進
- ◆リニア駅周辺の地域と連携した広域交通拠点の機能の充実と魅力の向上 など



© Central Japan Railway Company. All rights reserved.

柱2 観光地としての 環境形成



豊かで多様な自然や文化の 保全・継承・活用と景観修景

豊かな自然と景観、文化財は、先人から受け継がれ後世に伝えなければならない地域の宝です。多くの人に見てもらい観光資源として活用するとともに、その保全と継承のための環境整備と、必要に応じた景観修景を図ります。

具体的 イメージ

- ◆歴史的建造物、史跡・名勝、天然記念物等の地域固有の多様な文化財の観光利用の促進（情報発信機能、ガイダンス機能、受入環境等の整備、文化財周辺の修景）
- ◆自然環境や景観を破壊しないため、必要により入場制限や立入禁止を行い保全に配慮など

南アルプスユネスコエコパーク・ジオパークの活用

南アルプスは優れた自然環境を有しており、ユネスコエコパーク、ジオパークに登録されています。関係地域では南アルプスの永続的な保全と持続可能な利活用に共同して取り組んでおり、新たな地域間交流の拡大、自然環境の保全と地域に根ざした伝統文化の継承など、これらの制度を活用した魅力ある地域づくりを図ります。

具体的 イメージ

- ◆豊かで多様な自然を観光資源として活用し、南アルプスユネスコエコパークの移行地域、ジオパークの中央構造線エリアを中心とした、自然環境の保全、自然や文化の体験学習、エコツーリズムなどの推進・支援 など

民俗芸能や暮らしに息づく行事の継承と 地域活性化に向けた対外PRの充実化

遠山郷の霜月祭、黒田人形、今田人形、獅子舞などの民俗芸能と生活に息づいている地域行事について、観光資源としても活用し、地域での継承活動や地域活性化につながるようにしていきます。



具体的 イメージ

- ◆民俗芸能への理解促進と、地域住民と見学者の双方にメリットが生まれるような関係づくり
- ◆当地域に受け継がれた南信州の煙火文化をPRして観光誘客と地域活性化につながるよう支援 など

既存の交通環境の整備と 新たな交通形態の構築

来訪者の観光地までのアクセスが向上するよう、交通拠点と観光地を結ぶ幹線道路の整備や観光地としての魅力向上に寄与する二次交通の整備を目指します。

具体的 イメージ

- ◆リニア駅降車後の観光客の交通手段の検討：サイクリング、地域バス、ウォーキングなど

観光地としての快適性の向上

情報通信技術（ICT）を活用した観光に関する情報提供と、来訪者にとって利便性が良く、居心地の良い環境整備に取り組めます。

具体的 イメージ

- ◆無料Wi-Fi等の整備による快適な情報空間づくり
- ◆多言語対応できる仕組みの検討（スマートフォンのアプリケーション利用）
- ◆景観に配慮した観光拠点エリアや目的に応じた、統一イメージやデザインの看板設置の推進

少子高齢化・国際化・衛生環境に対応した 観光客が安心安全に過ごせるまちづくり

高齢者や障がい者、外国人旅行者に配慮したおもてなしができる地域を目指し、誰もが利用しやすいように、バリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入による環境整備に努めます。

具体的 イメージ

- ◆バリアフリー化、ユニバーサルデザインについて、利用者目線での現状分析と観光資源分類に基づいたゾーン化
- ◆高齢者や外国人に対応可能な和式トイレの洋式化、障がい者や乳幼児連れの親子に配慮した多機能トイレ設置の推進 など

柱3 観光の魅力向上



飯田市の新たな魅力づくり

飯田市の特徴と魅力を最大限活かすことで差別化された観光イメージの確立を図り、リニア中央新幹線により、移動時間が短いというメリットや大都市に無い魅力を打ち出していきます。(都市部から45分で訪れる「2つのアルプスを眺望できる 日本の原風景」「民俗芸能の宝庫」「1年を通じて果物のおいしい地域」「アウトドア体験できる地域」等、飯田市が持つ魅力的かつ効果的な観光イメージづくり)



具体的イメージ

- ◆体験教育旅行に代表されるエコツーリズム事業として、この地域の農業や生活習慣など実生活をお裾分けすることを「ほんものの体験」としてプログラム化した体験型の観光を継続
- ◆「人形劇のまち 飯田」として、いい大人人形劇フェスタと、年間を通じて行われる定期公演や体験プログラムなど人形劇の魅力を発信した誘客への取組
- ◆リニア中央新幹線による「移動時間短縮」のメリットを活かし、気軽に訪問できることを売りにした都市圏からの旅行者向け「日帰りツアー」やプログラムの提案 など

観光・宿泊拠点のイメージづくり

旅行者の多様性・ニーズに合った、安心かつ親しみの持てる利用しやすい観光・宿泊滞在施設づくりを目指します。
また、観光・宿泊拠点として必要な機能や環境を整えます。

具体的イメージ

- ◆外国人旅行者対応のホテルまたは旅館の誘致(1泊2食付等、県内資本であること)
- ◆観光客の評判、関心事等の情報を吸い上げる機会づくり
- ◆観光事業者の取組に対する市民の声を聴く機会づくり など

観光素材の商品化と地域主導型集客商品の提供

ライフステージ(若年期・青年期・壮年期・高齢期)やライフスタイル、障がいの有無、人数など、多様化した旅行者の状況に応じた多種多様な観光商品の開発を目指します。

また、将来像や観光イメージと関連したブランド化を図ります。



具体的イメージ

- ◆既存の観光資源の再評価で、どの世代(年代層)をターゲットにとって、何が観光資源となるかの再確認
- ◆温泉が多い地域性を活かしたプランの設定(トレッキング、まち歩き、サイクリング等、健康志向のアクティビティと温泉の組み合わせによるコース、温泉の効能を活かした商品設定)
- ◆「健康長寿」に視点を置いた観光、ヘルス・ツーリズムの形成(医療的効果と結びつけた観光の利用法) など

特産品・食の魅力向上と物産振興

来訪者にこの地域の食文化や農産物、食の魅力を伝えて楽しんでもらい、地場産品の振興を目指します。



具体的イメージ

- ◆フードツーリズムの形成
- ◆飯田独自の食材を最大限に活かす時期(旬)、調理法、演出の確立
- ◆消費者に農産物の収穫を体験してもらう「産地ツアー」は、消費の拡大とともに、旬の野菜や食の安全をテーマに、食材と地域行事や地域資源と組み合わせた地域主導型集客ツアーとして催行 など

柱4 観光情報の提供と誘客の促進



広域観光の推進

広域連携により飯田下伊那地域に点在する観光資源を活かした効果的な誘客活動を実施し、県内外からの来訪者獲得を目指します。



具体的
イメージ

- ◆ 近隣市町村や他県との広域連携（飯田伊那地域市町村、伊那路・木曽路広域観光連携会議、三遠南信伊勢志摩広域観光交流連携協議会での連携強化、連携団体のネットワークを利用した情報共有や情報発信体制の構築）
- ◆ 博物館、美術館ネットワークの構築による「伊那谷の自然と文化」をテーマにした学習ツアーの提案
- ◆ 広域での周遊型商品（ツアー）催行：サイクリングツアー・電動自転車ツアー、ウォーキング、市民の協力によるオンデマンドツアー など

効果的なプロモーションによる誘客の促進

テレビや新聞などのメディア、SNS、AR（拡張現実）といった情報通信技術（ICT）による観光情報の提供をすすめ、商品の販売について新たな事業者を育成し、受け手側を踏まえた効果的なプロモーション展開を図ります。



具体的
イメージ

- ◆ 市民や飯田のファンによる情報収集・発信サイトの開設（市民参加とファン交流の場）
- ◆ 来訪者による情報発信の支援（来訪者がSNSを利用して情報発信できるようなビューポイント等の情報を提供）
- ◆ イベント内容に応じた対象を明確にした情報発信による地域外からの誘客促進と映画やテレビドラマのロケーション撮影等の誘致 など

ニーズに応じた観光情報の発信と宣伝

来訪者のニーズに応じられるよう、幅広い観光プランを作成し、ターゲットごとの市場を踏まえた情報の発信と宣伝を進めます。

具体的
イメージ

- ◆ 来訪者の要求に応じた「情報提供のレベル分け」（来訪者が概要説明と詳細解説を選択できる情報提供体制づくり） など

既存情報の見直しと充実

定期的な観光資源の見直しを図り、観光情報の充実と最新化を目指します。また、情報や人材のデータベース化を図り、効率的な管理を進めます。

具体的
イメージ

- ◆ 情報発信ホームページ「南信州ナビ」の充実
- ◆ ガイドブックやパンフレット等へのビューポイントの情報掲載 など



柱5 人材の育成・コミュニケーション



観光に対する市民の参加意識の醸成： 人が観光資源

観光都市“飯田”を目指し、市民の観光への理解を深めます。
全市民が飯田市の観光の一端を担っている意識を高めることを目指します。

具体的
イメージ

- ◆市民に飯田市の観光振興の主役になってもらうための啓発活動
- ◆市民に可視化した観光で理解を推進(まちあるき、ガイド、商店街の関わり)
- ◆学校教育との連携による観光の周知、次代の人材育成 など

おもてなしの向上

飯田市に訪れる人の満足度を向上させ、訪れて良かった、再び訪れたいと感じてもらうためには、おもてなしが必要です。観光事業者、市民に関係なく、来訪者を好意的に迎え入れるような雰囲気づくりを目指します。



具体的
イメージ

- ◆「全市民がホスト役」という意識づくりのための市民向け講座の開催
- ◆主体的に飯田独自のおもてなしを考えるための市民活動の立ち上げ
- ◆事業者がまちの歴史等を学び、観光客に伝えることができるようにする学習会の開催 など

観光の担い手の確保

自分の住んでいる地域のことを知り、その魅力を人に伝えることが観光の基本です。

市民の持つ知識や地域コミュニティの活動内容を活用し、観光資源に合った案内ができる人材・ガイドを養成します。



具体的
イメージ

- ◆目指す人材、欲しい人材のコンセプトの明確化
- ◆地元コミュニティに負荷の少ない観光の仕組みづくり、考え方の整理
- ◆飯田の観光業でのインターンシップの導入 など

観光事業者間の連携・協働と 地域の異業種間交流の推進

観光振興のさらなる発展や推進に向けて、個々での展開から地域、全市での観光の展開につなげます。また、異業種間交流の場を設け、今まで結び付かなかった業種との関係を築くことで、新たなビジネスチャンスの可能性を生み出し、地域の産業振興を図ります。



具体的
イメージ

- ◆天龍峡、遠山郷、まちなか(中心市街地)に、新たにリニア駅周辺を加えた4つのエリア等における各観光エリアと地域団体の連携・支援体制の構築
- ◆地域内のネットワークづくり(公的機関、事業者団体、地域住民組織、事業者間)による、情報の共有(各主体で行われる他地区との交流等)、観光により得られるものが地域に還元される仕組みづくり
- ◆異業種間交流による、観光以外の業種とのネットワークづくりを進め、効果的な地元産品の開発や情報発信、新たなビジネスチャンスの創出 など



飯田市観光の
目指す姿の実現に向けた
今後の進め方

本ビジョンで掲げた飯田市観光の目指す姿を実現するためには、多岐にわたる観光分野の事業を効果的に進めなければなりません。観光事業に関連する多様な主体が観光振興ビジョンを共有し、これまで以上に連携して協働できるよう、個々の施策を具体化したロードマップを作成して、この地域の観光振興に向けて取り組んでいきます。

市民(地域住民団体)

まちづくり委員会 山岳愛好家団体 国際交流推進団体
文化財保存団体 農業体験受入農家 障がい者団体・支援者団体
伝統芸能伝承団体 自転車愛好家団体 高齢者団体 等

公共交通機関
民間交通事業者

飯田観光協会
(加入団体含む)
観光事業者

農林水産業団体
商工業事業者

南信州観光公社

NPO法人

南信州・飯田産業センター

報道機関

飯田商工会議所

国・県機関

飯田市

南信州広域連合

観光振興ビジョンの共有

飯田市観光振興ビジョン[概要版]

発行年月：平成27年3月

発行：飯田市

飯田市大久保町2534番地

電話 0265-22-4511(代表)

編集：飯田市 産業経済部 観光課

ホームページ：<http://www.city.iida.lg.jp/>